

## 2) 空気噴出式土層破碎機

### (1) 用途

土中深くで空気を噴出させて、畑地（大根、トウモロコシ、タバコなど）、果樹園（みかんなど）、茶園などの土壌の膨軟化、酸素供給、有毒ガスなどの追出し、排水促進、深耕などのために使用する。

### (2) 構造

構造は、圧縮空気を作るコンプレッサー、土中深くで空気を噴出させるノズルの付いたパイプやチゼル（破碎刃）などよりなり、移動しながら間欠的に土中で圧縮空気を噴出させる仕組みとなっている。

トラクタ後部の3点リンクに装着してサブ・ソイラーのチゼルの土中に入れたまま引きながら2～3秒間隔で空気を噴出させ連続作業を行う。

### (3) 取扱い上の留意点

土壌が過度の水分を含んでいる時は碎土効果が少ないので、適期を選んで作業する。また、トラクタの大きさとマッチしたサイズのものを選定する。

### (4) 安全作業のポイント

トラクタと本機両者の取扱説明書や安全ラベルを良く読み理解する。

P T O軸や可動部のカバーは常に所定の位置に付けておく。

点検・調整・修理は、必ずトラクタのエンジンを止めてから行う。

着脱時には、作業機との間の挟まれや押し潰されに注意する。

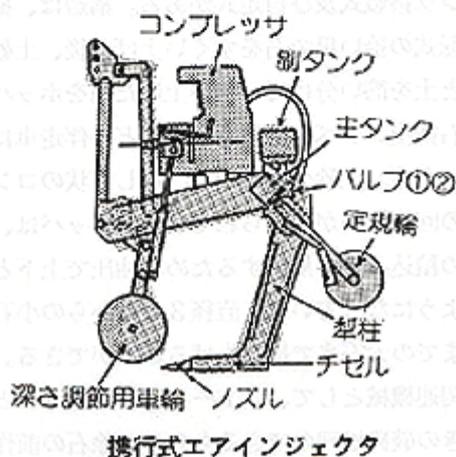
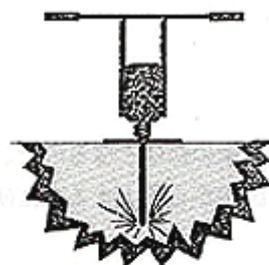
始動、発進、後進時には必ず周囲に人がいないことを確認する。

移動時には他車との追突や接触に注意する（予防対策として反射材などを活用する）。

補助者を含めて破碎刃やP T O軸などの回転部などへの接触、高圧ホースなどの破裂などに注意する。

### (5) 価格例

トラクタ搭載式（1連のサブ・ソイラー型、適用トラクタ 18～45PS）のもので、仕様により 25～80万円程度のものがある。



サブソイラに付けた  
エア・インジェクタ